

# TUTTI

#WITHコロナ時代

DONA NOBIS PACEM 2020 VOL5



アマビエ

Drawn by Mari Kasai "amabiexbach"

疫病退散

## 委員会より練習再開に向けて

3か月の練習休止期間を経て、TIVEは7月11日から練習再開いたします。

しかし、新型コロナウイルスは終息したわけではありませんので、今後の生活は常にウイルスと共にあることを念頭に置き、どうか気を緩めることなく、これまで以上に感染拡大防止に努めてくださいますようお願い申し上げます。

また、職場からの制限や練習参加への不安からすぐには参加が難しい方も大勢いらっしゃると思います。

委員会では毎回の練習録音の配信や、練習動画ライブ配信など、できる限りのサポートに努めてまいります。

必ずまた全員が揃って歌える日が来ることを信じて。

<練習参加予定人数> (注) 最新のご予定を毎月調査する予定です。

	7/11	7/25	8/8	8/22	9/12	9/26
	みどり 多目的ホール	曳舟文化 第一会議室	八広 多目的ホール	曳舟文化 第一会議室	みどり 多目的ホール	八広 多目的ホール
練習形態	全体練習	パート練習 (女声)	パート練習 (男声)	パート練習 (女声)	全体練習	パート練習 (女声)
ソプラノ	4	4	5	5	8	7
アルト	9	10	9	8	10	9
テノール	3	1	3	1	3	1
バス	2	2	2	2	2	2
合計	18	17	19	16	23	19

## 先生方からのメッセージ

金井先生より団員の皆様へ

団員の皆さま

新型コロナウイルスの影響で、長い自粛生活で不自由な日々を送りつつ練習再開を待ち望んだ3ヶ月だったと推察します。都の自粛解除により経済活動は元に戻りつつも、感染のリスクはむしろ高くなっています、、、

この数日感染者数は増え続けています。

「自粛解除」の言葉に惑わされることなく気を引き締めて行動して下さい。

油断が命を奪います—手洗い、消毒、うがい、検温、マスク、etc、、、手を抜かずに。

仲間への思いやりの心を持ち！健康で歌えることに感謝！

金井

広瀬先生より団員の皆様へ

みなさん、

いよいよ練習再開ですね。久しぶりに顔を合わせ、声を合わせる時間が以前より貴重感じます。ソーシャルディスタンスを保つので活動ですから、隣の人の音が聞こえないかもしれません。自分の音と会場に響く音にしっかりと耳を傾けて、楽しんでください。

また、まだ暫くは練習に参加できない団員さんもいらっしゃると思います。皆さんそれぞれのペースで練習を進めてみてください。安心して以前のように活動できる日が必ず来ますので、その時にまた一緒に歌いましょう。お会いできる日を楽しみに待っています。

広瀬奈緒

## 前川先生より団員の皆様へ

TIVEの皆様、本当にお久しぶりです。  
役員の方々のご尽力と皆さんの気持ちがあわさり、  
やっと練習再開ですね。

そもそも音楽は楽器以前に人の声から生まれたもの。祈り・労働・合図等々、  
様々な場面で人と人が関わり、唱和することの必然性により、生まれてきたも  
のだと思います。

それらが全て否定されたこの4ヶ月間、皆さん本当に寂しく感じられたことと  
思います。

私達ピアノ弾きは暇さえあれば“ひとりで何時間でもピアノ弾いちゃう”とい  
う半ば「引きこもりのなざんねんな生き物！」なので、お陰様でコロナ疲れも  
なく学生時代のように弾きまくっていましたが...(結果ピアノ椅子が壊れた!!)

やはり誰かと関わって音を奏でる大切さも、再確認しました。ずっと前ですが、  
娘達の幼稚園の園長先生が、勉強は一人でも出来るが何のために幼稚園や学校  
に通うかについて、「仲間をじっと見て認めて受け入れる。そして自分も皆に  
認めてもらって成長するため」と仰っていたのを今でも覚えています。

やっと戻ってきた誰かと歌える幸せな大切な時間を思う存分楽しんで頂けるよ  
う、できるだけお役に立ちたいと思います。宜しくお願い致します。

前川陽子

**アマビエ**（歴史的仮名遣：アマビエ）は疫病よけの伝説がある江戸時代の妖怪。海中から光をかがやかせるなどの現象を起こし、豊作・疫病などに関する予言をしたとされる。江戸時代後期に製作されたとみられる瓦版に類する刷り物に、絵と文とが記されている。肥後国（現・熊本県）の夜ごとに海に光り物がおこったため、土地の役人がおもむいたところ、アマビエと名乗るものが出現し、役人に対して「当年より6ヶ年の間は諸国で豊作がつづく。しかし同時に疫病が流行するから、私の姿を描き写した絵を人々に早々に見せよ。」と予言めいたことを告げ、海の中へと帰って行ったとされる。

（「Wikipedia」などより）



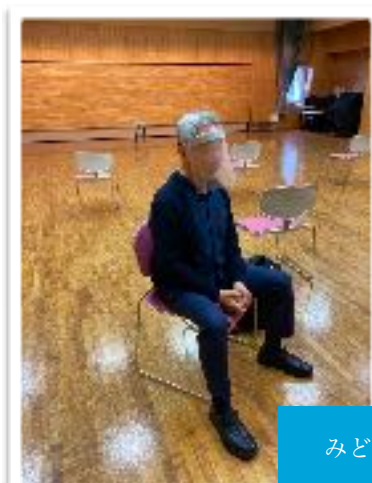
## 6/13みどり会場実地調査報告

6/13に金井先生と委員会メンバーとでみどり多目的ホールの実地調査を行いました。

2m間隔で椅子を配置するとこんな感じになります。きっと今までとは聞こえ方が全く異なるのでしょうか。

換気面では、練習中もドアを開けたままで良いことを施設に確認しました。また、30分毎に休憩を取り、可能な限りの窓開けと扇風機の使用により、十分に換気できることも確認しました。

練習中も含め飛沫飛散防止のためマスクやフェイスシールドの着用も適宜お願いいたします。



みどりコミュニティ



タイムキーパー  
使用予定の団扇



八広地域プラザ  
(床に目張りされています)



曳舟文化センター  
(机は移動しない予定です)

## 団員の皆様より

### ソプラノの皆様より

#### ■ 長瀬 靖子

ソプラノ、長瀬です。漸く練習が再開できそうになってきました。ただ、コロナが収まったわけではないので、今後も当分は感染に注意しながらの練習と生活になるのだと思います。練習の形態は変わります。ただ、形態を変えながらも、歌を歌うことは無くならないと思うので、今は練習参加が難しい方も、必ずみんなで歌うことができると考えています。その日を楽しみに、皆さんとにかく感染しないように、気を付けましょうね。

#### ■ 福島 幸子

ソプラノ福島です。

突然降って湧いた母の介護、コロナ感染予防等諸事情によりしばらく練習に参加できず、大変心苦しくまた残念に思っています。

練習再開に向けていろいろ尽力してくださっている委員の皆様には心から感謝しています。

1日も早く皆さんとまた一緒に歌えますように心から願っています。

#### ■ 浜崎 千鶴

浜崎千鶴です。まず、練習再開に向けて、後ろ向きなコメントばかり送り続けたこと、ごめんなさい。本心は早く皆さんと歌いたい気持ちでいっぱいです。運営委員の皆様までのご尽力で、再開に向けての方法を示していただきありがとうございます。

ところで、自粛期間の間にいろいろあって、今両親との同居に向けての計画が進んでいて、来週は仮住まい先へ引っ越すことになりました！不動産屋や住宅メーカーとの打ち合わせなどが週末に入りますが、練習に被らないよう調整できたら、と思います。

再開の練習曲は、*Dona nobis pacem* なのですね。自粛期間のTuttiのサブタイトルも同じですね。本当に、また皆で声を合わせて歌える平和の日々を心より祈っています

#### ■ 金子 幸代

先生方 皆さま。いよいよ7月からの練習再開ですね。

TIVEが練習休止にしている3ヶ月は、現実に対面で会話することはできなかったけれど、一緒に声をあわせて歌う事もできなかったけれど、どうしたら活動が再開できるかしらと皆が考えに考えた日々でした。

ソプラノは頼もしいパートリーダー退団という残念な局面にも向き合わなければなりません。パトマネの青木さんを要に、できることから慌てずにやっていけるといいなと思っています。

これからも、それぞれの持てる力を持ち寄って次の演奏会を目指しましょう。歌いあげた時のあの感動、もうやめられません。

私は職場の都合があるため9月からの練習参加ですが、7月11日は会場設営しに参ります。先生方や皆さまにお会いできることが楽しみです。

どうぞよろしくお祈りします。

## ■ 石川 祐子

TIVEのみなさんと一緒に歌えなくなってから、もう4ヶ月も経ってしまいました。1日も早くまた音楽を、合唱を創りたいという思いはあるものの、一方で、実はそのためのエネルギーが湧かなくなってしまっているのも事実です。8月には2週間学校が夏休みになるので、練習に参加し、それが刺激になって少しエネルギーが湧いてくると良いなと思っています。

ところでTIVEのみなさんには直接関係無いことかもしれませんが、今とても心配していることがあって、少しでも多くの方に協力？していただきたいことがあります。東京都は6月から学校が再開して、やっと学校が賑やかになりました。でも、まだ子どもたちは部活動や日々のいろいろな活動を制限されながらの生活しており、溢れ出るエネルギーが行き場を失っています。放課後の子どもたちが大人の目の届かないところで何をしているのかとても心配です。大人は大人でコロナ禍で大変で子どものことには目が向いていないように見えます。でも「そうではないよ、あなたのこと気にかけているよ」というメッセージをTIVEのみなさんの周りにはいる子どもに伝えてください。「おはよう」「こんにちは」「いってらっしゃい」という挨拶が良いです。よろしくをお願いします。

## ■ 高原 智子

皆さまお元気ですか、高原です。練習再開に向け、色々準備くださり、ありがとうございます。

今練習再開を前に、心配していた感染者増加の状況があります。職場でも、ソーニングや食事中の制限はじめ、様々な制限下にあります。その為、まだ練習参加が難しい状況で申し訳ありません。

2月下旬に身内が居たアムステルダムへパリ経由で数日行ってきました。その頃の様子は、日々刻々と変化していく過程は驚くものがありました。そして、人種や国籍、宗教の事、国際的繋がりなどを改めて意識させられました。

これに比べ日本は緊急事態宣言中であっても、比較的動きが取れましたが、医療現場や介護現場の状況、経済的な状況など未だ厳しい現実の中にあります。

感染リスクから少しでも回避できるよう、お互いに意識と思いやりの気持ちを持って過ごしていきたいです。

そして、TIVEで合唱を続けてこられたからこそ、出会えた世界が多々あった事も改め実感しました。

早く皆が揃って、練習できる日が早く来ることを願っています。

## ■ 葛西 真理

当分参加できなくて本当にごめんなさい。

ソプラノ頑張れ！

## ■ 青木 真理子

委員の皆様 練習再開に向け 様々なご苦勞 本当にありがとうございます。  
寄り添って歌うのが合唱の最大の魅力であり そうじゃないと存在しえない私...。  
今ソプラノの大きな支柱を失い不安を隠しきれません。

この3ヶ月に地元の女性合唱団では「ふるさと」「見上げてごらん夜の星を」「いのちの歌」とバーチャルクワイヤを体験しました。誰でも知っている曲ですが ひとりで歌い録音するとなると テンポ. 音程. 息. 言葉. 気持ち等 どうか納得いくものを録るのに沢山の時間を費やすことになりました。大雑把な作りでこれですから 金井先生の求めるものは如何せん...。改めて声を合わせることの有り難さを思い、自分の至らない部分を痛感したのです。

曲のジャンルは違って先生方の日頃のご指導の意味を実感し 有り難さを改めて理解することとなりました。

すぐに参加するのは難しいかもしれませんが 先生方、皆さまどうぞよろしく願いいたします 🎵 ✨。

## ■ 二葉 亜貴

元気でやっております。

仕事はすっかり通常通りの勤務に戻りました。ですがみんなそうだと思いますが私も自分の時間はほとんど家にいる生活を続けています。

年齢的に気力体力も衰えてきたしでそんな生活もいいなと感じています。

もう以前の忙しさには戻れないかもしれない・・・。

こんな状態ですがなんとか合唱の楽しさを思い出し、練習に備えようと思います。

委員の皆様いつもありがとうございます。

## ■ 中野 光子

練習再開楽しみにしています。リスクはありますが、幹事さんが万全を尽くして下さいていることと信じています。

山田さんの退団は残念です。パートリーダーの負担が大きすぎるのではないのでしょうか？無理にパートリーダーを置かなくてもよいのでは？



Photo by Tomoko Takahara

## アルトの皆様より

## ■ 横山 雅子

この大変な時期に先生、役員の皆様のご苦勞により、練習が再開出来ることには大変感謝しています。

withコロナと言われている今、先ずは一步踏み出さないと、何も始まらないと思っ  
てはいるのですが、いろいろ考えると踏み出せない自分がいます。

もうしばらく、伝えていただける練習の様子を参考に自宅で勉強したいと思  
います。無事練習が進むことを願っています。

## ■ 渡邊 弘子

TIVEの無い3カ月は、長かった！と、とても感じている日々です。木更津市の小中  
学校も通常に学校生活が始まっています。私は週2回という身ですが、マスク姿が当  
たり前でやっています。生徒たちは楽しそうでコロナ前とかわりない日々となりつ  
つあります、しかし歌声の無い学校はさみしい。withコロナで元気にやって行  
きたいです  
ね。

## ■ 中右 絢子

皆と一緒に2週間に一度集まって当たり前のように歌っていた時間が止まった時、ど  
んなにかけがえのない時間だったと思いらされました。歌えない時間が、「歌いた  
い」という思いを募らせてこれから再開されるTIVEの時間はいままでと違う景色  
となるでしょう。皆様との再会楽しみに・・・

## ■ 加藤 典子

2月に団長となって、さあこれから！という時に突然コロナ禍という今まで誰も経験  
したことのないものに見舞われ、活動休止を余儀なくされました。

この3か月間は、まるで長いトンネルの中に入ってしまったよう。練習休止期間中  
に何をしたらよいのか、いつからどのような形で再開したらよいのかについて苦悩し、  
迷走し続け、皆さんにもご迷惑をおかけしてしまいまして申し訳ございませんでした。

ようやく7月からの再開方針が決まりホッとしております。ここに至るまでに多くの助  
言をくださった皆さまに心から感謝申し上げます。しかし、秋から冬にかけて第2波  
が来るという予想もあり、まだまだ先行きは不透明。これからも気を引き締めてや  
ってゆかねばと思っています。

ひとまず今は7月11日に無事に再会できることを楽しみにしています。

## ■ 清遠 佳澄

7月から、ようやく正式な団員として練習に参加できること、嬉しく思います。

残りの参加可能日数が思いがけず減ってしまい残念ですが、限られた中で精一杯楽し  
みたいです。

よろしく願います。



### ■ 三好 菜穂子

現在、職場は通常勤務に戻り、日々三密を避けるべく様々な手間が増えています。具体的には、週二回の音楽の授業を二か所に分散して15名ずつで行っています。当然私は一方の部屋を担当するので、毎回パワポを作成し、生徒に内容がわかりやすいようにしていますが、10分間の休み時間にテレビ、パソコンをセットし、椅子などを消毒しながら準備するのがまあまあ大変。これを6月から実施しています。その他も体育館で職員会議をしたり、(職員数100名をゆうに超え、全員が入る会議室は無い)給食を各教室で分散して食べるために食缶を二回まで運んだり、クーラーをつけつつも窓を開けているため涼しくなかったり、と挙げればきりがありませんがまあ、仕方ないです。

今一番の困惑は、この状況がいつまで続くのか見通せないことと、それに伴い、秋に行う予定の研究授業の内容や12月の音楽発表会の実施についてなかなか定まらないことです。一学期は7月末日までに延長、8月もあつという間に終わりそうです。県民の罹患は相変わらず増えておらず、街中も通常に戻りつつありますが、今度は、やはりマスクと熱中症との関連が気になるところです。

ネットではコロナや合唱活動に関する様々な情報が載っていますが、出所のはっきりした信頼できるものを頼りに、そして皆さんのできる限りの納得のいく形でできることを進められたら良いと思っています。私のほうでも何か参考になりそうなものがありましたらLINEでお知らせします。先生方を始め、運営委員のみなさま、団の活動のためにいつもありがとうございます。今後もよろしくお願いします。

### ■ 伊藤 佳江

思い出したように音取りをしています。  
後半 練習に参加できなかったこともあり、  
SanctusとOsanna in excelsisばかりつぶやいています。  
新型ウィルスがはやく終息することをねがうばかりです。  
紫色はご近所のゴボウの花、今日の様子。  
そして、会社の屋根に 今年はメロンを植えてみました。  
黄色い花はたくさん咲くのですが、雌花ばかりで  
毎朝雄花をさがしています。実ってくれるかなあ。  
という毎日です。  
また、ご一緒できますよう、すこやかに過ごしてください。



### ■ 中川 智津子

お久しぶりです。

私の仕事は今までと変わらず通常出勤していますが、日に日に満員電車になっていくことや街中に人が増えているのを見ると日常に戻るのもあと少しなのかな、と感じています。

ここ数か月、満足に声を出せない状況が続いていたので、練習再開に向けて嬉しさと不安が混在していますが、7/11に皆さんに会えるのを楽しみにしています。

合唱はやりたいけれど、まずは自分や周りの健康第一！で頑張りましょう(^^)

### ■ 石塚 博子

口短調本番を迎える頃には、あんな時もあったよねえと安心して言える世の中になっていることを願って、信じて、頑張っていきましょう！本当に今は健康第一です。くれぐれもご無理のないよう。早くみんなで合唱したい！

## 男声の皆様より

### ■ 岡野 良則 (テノール)

このところ東京都の感染者数が多くなっています。通常の練習ができるのはいつになるのでしょうか。

### ■ 高戸 祥隆 (テノール)

いつも素晴らしく編集されたTuttiありがとうございます。委員の皆さまの優しさと努力が通奏低音のように心に響きます。7月11日の練習再開に向け、皆で情報を集め十分な準備をして臨みましょう。かような時期の処し方は人夫々全く違うと思いますが、共通して言える点は、一つは、今まで当たり前でやって来たことへのありがたさを思い知らされたこと、もう一つは、自分自身をあらためてじっくり見つめ直す時期である、ということでしょうか。

さて、いろいろの活動自粛の状況下ではありますが、「思考」の自粛があってはなりません。かような時だからこそ、心を縮こまることなく今まで以上に自由に大きく伸び伸びとしかししっかり前を向いた「思考」を心の中で頭の中で育てましょう。私は今二つのことに凝ってまして、一つは、毎日ずっと終活として身辺整理をしていますが、これが結構楽しいのです。沢山残った思い出の整理は、昔を思い老いた今の自分を悔やむという暗いものではなく、逆に自分が一生懸命やって来た昔の情熱の品々や甘い思い出等を振り返ることで、昔の自分のエネルギーをもらい元気づけられるようにしています。

もう一つは皆と歌えないかような時期こそ音楽好きの特性を活かさなきゃと思い、気分転換や楽しみを増やすためにも、自分の好きな歌曲を選んで、大声は出せませんが、あたかも自分がカッコ良いソリストになった気分です。皆さんも気分転換にご自分の好きな曲を選んで練習しながら誰が見ているわけでもないですからカッコ良くソリストになったつもりで歌ってみると良いと思います。いつか誰かに歌ってあげたい、と思うとことでさらに意欲が湧きますよ。私は持っているCD以外は、YouTubeが教科書であり楽譜です。人により好みがありますが、今私が歌いたいなあ、練習してみたいなあ、という曲を以下リストアップします。もしご存じない曲でいいなあ、と思うのがありましたら、良き音楽との「出会い」だと思ってご自分の楽しみに加えてください。皆さまからも良い歌をご紹介ください。

今 私の歌いたい候補曲は：洋楽ならカンツォーネが主ですが、「アマリッリ」（カッチーニ）、「Plaisir (Placer) D'amour 愛の喜びは」（マルティーニ）、「天使の糧（パン）」（C. フランク）、「人知れぬ涙」（ドニゼッティの愛の妙薬より）なんか歌えたらいいですね。「忘れな草」（クルティス）、「彼女に告げてよ」（ファルヴォ）、「Sent Nel Core」（スカラッティ）、「Sebben Crudel eたとえつれなくとも」（カルダラ）、に加え、お馴染みの「カロ・ミオ・ベン」や「オー・ソレ・ミオ」も楽しいです。最近出会った「Pietà, Signore」（ストラデッラ）はカレーラス、ベルゴンツィ、マリオ・デル・モナコの演唱が凄い！あと難しいけど「星も光りぬ」（プッチーニ）や「誰も寝てはならぬ」の最後のベーの音に挑戦しようかと思っています。女性の方々にはカッチーニの「アヴェ・マリア」は是非練習していつかご家族や友人に歌ってあげてください。女子力アップ間違いなし！これに負けない美しい曲、アレグリの「ミゼレレ・メイ、デーウス」のハイツェーに挑戦してみるのも面白いかと。さらにテレマンの

「マニフィカート」のアリアは器楽曲ですがたまに歌のもあり、現代人にもそのまま心打つ美しい曲です。ヘンデルの有名な「オンブラ・マイ・フ」（ラールゴ）もいいでしょう。あと日本の歌曲では、先ず私が一番好きなメゾソプラノ小川明子さんが歌う日本歌曲の数々を聴いてみてください。私のお薦めの曲は：高田三郎の、（子が父を想う）「くちなし」、三木露風の（甘く哀しい抒情詩）「ふるさとの」、石川啄木の歌で越後谷達之助曲「初恋」、抒情歌人若山牧水詞、古関裕而曲「白鳥の歌」、滝廉太郎作詞・作曲の（荒城の月に勝るとも劣らぬ名曲）「秋の月」、（気高く美しい）三木露風詞、本居長世曲「白月」、竹久夢二（の母を想う詩）・小松耕輔曲の「母」、ロマン詩人佐藤春夫の（若き日の甘き恋を歌った）「海辺の恋」、島崎藤村の詩、弘田竜太郎曲で有名な「小諸なる古城のほとり」（千曲川旅情の歌）等々。女性の方たちには、中田喜直の「霧と話した」「さくら横ちょう」「夜店の唄」は日本人として心に沁みます。「ねむの花」「忘れなぐさ」「青空の小径」は乙女チックに！さらに讃美歌219番、325番、「君は愛されるため生まれた」、312番や、167番「アメイジング・グレイス」や世界中で歌われている「You Raise Me Up」（森麻季さんの歌唱は胸を打ちます）は女性に限らず歌ってみたら気持ちが真っすぐになれる曲と思います。

またまた長ったらしいメールをしてしまってすみません。認知症でこうなっていないとは思いますが、これも年の功ということで免じていただければありがたいです。

### ■ 馬岡 利吏（テノール）

東京は今日の感染者数は60人だそうですね。皆様、お元気ですか？

合唱練習の再開に向けていろいろと思案しています。横浜合唱協会でも7/11の練習から参加人数を絞って集合練習を再開します。WEBで聴講参加する会員向けにZoomで配信できるように少しばかり機材を調達したりして準備しています。

口短調ミサ曲は自粛期間に入って改めて階名読みを二巡しました。（少ないですか？）ゆっくりとブレスを思い出せるように、ブレスが途切れないように注意して読んでいます。今まで通りの練習が出来るまでにはまだまだ長い道のりですが、ゆっくりと時間をかけて取り組むには口短調ミサ曲は良い課題のようにも思います。

ところで、いま、「水野命」もとい「水のいのち」が頭の中でヘビーローテーションしています。横浜合唱協会では第71回定期演奏会の企画にコロナから立ち上がる人や々の復活を願ったプログラムを検討しており、バッハやブラームスなどの復活、神の救いなどがテーマの作品でプログラムを検討しているところです。私はそんな中で「水のいのち」の1番の「降りしきれ、そして立ちかえらせよ...」のところ、水が地面に浸みわたり命がよみがえる様が恋しくなります。そしてもう一つ、「季節へのまなざし」の最後のフレーズ、「ひとは夢見る 手をかざし 炎の中に土の器を やがて来る雪の白さが 悲しみをほめ歌に変えるまで」（詩：伊藤海彦）

練習の再開まであと少しですが、皆さんの思いを持ち寄って練習再開を目指しましょう。金井先生をはじめ、委員の方々には練習再開に向けてたくさんの難しい検討をされてきたと思います。本当にありがとうございます。頑張りましょうね！

### ■ 沢田 高志（バス）

このような時でも団員の結束を図ろうという団長と役員の皆様には頭が下がります。他の団にはなかなかない、TIVEの素晴らしいところですね！

7月11日に皆様にお会いできるのを楽しみにしています。コロナはいつ終息するか先が見えない状態ですが、感染防止に努めてできることはしていきたいと思います。

追記)

大変残念なお知らせですが、練習休止期間中にソプラノ本間さん、山田さん、アルト佐久間さんと、3名のかげがいのない団員が退団されました。それぞれご事情があつてのことですが、とりわけ技術リーダーとして団を引っ張ってきてくださった山田さんの退団は大きな痛手です。

退団を決められた山田さんから、先日、TIVE宛に思いがけないプレゼントが届きました。箱いっぱい詰められたマスク、消毒剤、ウェットティッシュの数々。練習再開の無事を願って用意してくださっていたのですね！山田さんのお気持ちに心から感謝しています。山田さんをはじめ、本間さん、佐久間さんとも、近い将来また一緒に歌える日が来ることを願っています。

そして、これまで以上に団員同士協力し合つて、口短調ミサの本番を目指して一歩ずつでも前進してゆきましょう。

## ● 今後の練習予定

須藤委員からの全体メールまたはTIVEホームページにてお知らせ致します。

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~tive/>



# TIVE Dairy

## 1998 サンタマルゲリータ



当日のプログラム



## 2001 クレモナ



現地プレス

新型コロナウイルスによるイタリアの惨状の報道で、クレモナの名前や映像を目や耳にされた方も多いと思います。

ヴァイオリンの世界的名器を生んだストラディバリが17～18世紀に活動したイタリア北部クレモナ。現地を訪れたことのある団員の方々にはとりわけ心の痛むニュースだったことでしょう。

一日も早く  
世界の平和と  
日常が戻りますように  
  
国内演奏会 そして  
海外演奏会の日を  
夢見ながら…